

1. カリマネ実践を紹介していきます♪

新年、あけましておめでとうございます！2022年になりましたね♪今年は、忙しさにトラわれず、幸せをトラえていこうと思う私です！（笑）本年度も、どうぞ宜しくお願い致します！

今回、スタカリだより16号では、1年生が取り組んだ、カリキュラム・マネジメントの紹介第二弾です！前回の15号では、生活科の「なかよくなるうね小さなともだち」のカリマネを紹介しました。今回は、生活科の「きせつとなかよし あき」の単元でのカリマネ実践です♪

2. カリマネ実践紹介～♪

今回は、カリキュラムマネジメントを意識した教科横断的な単元計画を考えてみました。生活科の「きせつとなかよし あき」という単元を中心に、それぞれの時間に、国語や図工、道徳を関連させました。そうすることで、それぞれの教科で得たことを、生活の時間に発揮したり、生活科の時間で得たことを各教科につなげたりすることができると思い、実施しているところです。



<生活科「きせつとなかよし あき」実践紹介！>

まずは、校庭や与那原公園で秋の宝物を見つけに行き、秋の自然を楽しみました！



① 生活科×図工

図工の「かざってなにいれよう」の単元では、宝箱を作成しました。折り紙やモール、ビーズ、等を使って、オリジナルの宝箱をつくりました。秋見つけで見つけてきた葉や木の实等の秋の宝物を大事に入れてます。



② 生活科×道徳



道徳の「どんぐり」の単元は、学校帰りにどんぐり拾いをしたことを、お母さんにうそをついてごまかしてしまったお話。秋見つけを行っている子どもたちには、すごく身近に感じた題材になりました。

あたらしいどうとく1 (東京書籍)

③ 生活科×国語

秋の自然にたっぷり親しんだ後、国語の「なにに見えるかな」(はなす・きく)の単元を行います。単元目標は、「互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて楽しく話をつなぐことができる」です。互いの話に関心を持ち、楽しく話をつなぐために、生活科の秋の単元と結びつけて、見つけてきた秋の宝物で実際に〇〇をつくることにしました！



あたらしいこくご一 (東京書籍)

先生方、子どもたちが作った〇〇は、何かわかりましたか？秋見つけで拾った落ち葉や木の枝、マツボックリやどんぐりを使って、その特徴を捉えて、カメや魚、トンボ、ちょうちょ等をつくっています。ここでは、集めた木の実や葉を何かに見立てたりして、特徴を生かした遊びに気づき、みんなで楽しく創りだしました。そして、自分たちが創った〇〇を使って、楽しく話を繋ぐことに挑戦！（国語）相づちを打ったり、相手の話を受け止めたり、分からないことを質問したりする等の言葉の力を確認した後、楽しくグループで活動を行っている姿が見られました！



これは、〇〇に見えるね♪この葉っぱのところは、何か？

はい！はい！私が質問したい！！



次号では、秋の宝物で創ったおもちゃ作りの紹介と幼稚園や2年生との交流を紹介していきます♪